来年度予算編成に向けて「議会の評価」を市長に送りました！

市議会では、決算審査における事務事業の評価を翌年度の予算に反映する「決算と予算の連動」に取組んでいます。

今年度は、昨年同様に常任委員会を基礎とする４分科会が評価対象事業を選定し、「決算事業報告書」に記載された事項に基づき、複数回のヒアリングと議論を重ね評価を行いました。令和8年第３回定例会の最終日に、議会として一致した意思を示すものとして確定し、市長に送付しました。

今回の「議会の評価」に対して市がどのように予算編成を検討したかについては、来年の３月議会で報告を受け、各座長から質疑を行う予定です。

令和７年度決算の審査

総務分科会

評価対象事業	事業評価
多摩市自治連合会補助事業	改善継続
集会所管理経費	改善継続
市民協働推進事業	改善継続

来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

多摩市自治連合会加入促進のため、加入のメリットを明確にする事業展開を求める。また、自治会等の担い手不足や高齢化などの課題を踏まえ、補助金額と補助対象事業の見直しをすべき。

集会所については、管理における市と自治会との役割分担を再検討し、付帯設備でも高額なものは市負担とすべき。有効活用されている施設と利用が少ない施設とを整理すべき。

市民協働推進事業については、「市民活動情報検索サイト」の改善と充実を求める。多摩市自治基本条例推進事業との統合を検討するのであれば、住民主体の地域づくりにつながる事業費を充実すべき。



健康福祉分科会

評価対象事業	事業評価
発達障がい児（者）相談支援事業	継続

来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

相談件数の増加や支援内容の高度化に対応できるよう、公認心理師等の専門職の確保と人材育成に関する予算の拡充が求められる。発達支援センター化に向けては、事務職の適切な配置と利用者が安心して利用できる環境整備のための予算も確保が必要である。

母子保健や保育園、幼稚園、学校との連携をさらに強化して、保護者が気軽に相談できる環境の構築と周知啓発を推進するための予算の確保も求めたい。親の会やペアレントトレーニングの実施にあたっては、オンライン等の活用も含め、開催方法や開催日時などについても柔軟な検討をしていただきたい。



生活環境分科会

評価対象事業	事業評価
街路樹等維持管理経費	改善継続

来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

将来負担や人口減少を見据え、安全性と良好な景観を両立する持続可能な街路樹管理をめざすべきである。そのため、樹木の更新内容や植栽構成を具体化し、適正な植栽間隔の確保、低木の撤去、管理しやすい樹種への変更などを進め、将来的な維持管理費の縮減につなげる必要がある。

また、国のガイドラインを踏まえ、定期的な点検・診断を充実させ、不健全と診断された危険木は迅速に伐採できる予算と仕組みを整えるべき。年度ごとの必要な予算を確保し、市民の安全を最優先に更新や伐採を計画的に進めることが重要である。これらの次期「多摩市街路樹よくなるプラン」への反映を求める。



子ども教育分科会

評価対象事業	事業評価
通学路安全対策事業	改善継続

来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

通学路安全対策事業は、児童・生徒の安全確保に向け、さらなる充実が求められる。

まず、通学路の見守りについては、安全整理業務従事者の配置場所を適時確認しつつ、地域での見守り体制の構築・存続に向けた人員確保など、市の積極的な支援を求める。防犯カメラについては周辺住民への配慮を続けながら、状況に応じた設置箇所の追加や性能・費用面の見直しを行い、計画的な更新を求める。

また、他所管や警察との連携による通学路点検は重要で、要望の多さを踏まえ連携強化が求められる。

こうした取組みを通じ、通学路の安全性向上を着実に進めていくことを求める。

